

常任委員会 視察報告

民生福祉常任委員会

《山口県宇部市》

ごみの減量化・リサイクルの取り組みについて

宇部市では、ごみ処理基本計画において、「市民・事業者・行政の協働による資源循環のまちづくり」を基本理念としています。そのため、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を理解した上で、ごみ減量化や資源化に取り組みむとにも、互いの協働によって資源循環のまちづくりを推進しているほか、「ごみを出さない」ことを最も重要として発生抑制に重点を置いて取り組み、その上で出てきたごみについて、再利用等による資源化に取り組んでいました。また、これらの取り組みの推進のための普及啓発・環境学習にも力を入れており、市広報誌への掲

載のほか、町内会を通じてチラシを回覧するなどの取り組みがなされていました。

《山口県萩市》

二十四時間保育について

萩市では、市内病院での看護師の確保対策として、夜勤時に子供を預けることができる二十四時間保育について検討されたのが最初のことです。その後、市内の保育園を対象に二十四時間保育の導入体制について協議を重ねた結果、一カ所の認可保育園にて閉所時間を利用して二十四時間保育事業を実施することとなったそうです。

《山口県下関市》

食育の取り組みについて

下関市の食育の取り

組みについては、地域住民向けのイベントや飲食業者との連携も重要だが、何より行政側の意識啓発に力を注いでいました。新採用職員の庁内研修にも取り入れた

り、市長が率先して庁内研修やイベントに参加したりと、職員の意識の高さがうかがえました。また、食事とは「命をいただく」という考えのもとで食育を推進しており、「どう食べるか」という点を意識して各事業を展開していることが印象的でした。

観光経済常任委員会

《鹿児島県日置市》

グリーン・ツーリズムの取り組み

日置市では、南九州エリアの豊富な社会教育施設とグリーン・ツーリズムを組み合わせたことで、農家宿泊体験の受け入れ数が倍増したとのことでした。生活習慣指導や絆を育むことも目標に掲げており、その取り組みの結果、リピーターとなっている方が多いのが特徴的でした。市単独ではなく、圏域、県全体で取り組むことで、交流人口の増加につながるものと考えます。

《宮崎県都城市》

畜産振興と家畜防疫の取り組み

都城市では、畜産振興の取り組みとして、生産品(和牛、肥育牛、乳牛、養豚、馬等)ごとに、現状や課題、目標と対策、各種事業が一目でわかるような計画が策定されており、事業に取り組む目的意識が共有されていると感じました。

スピードがすさまじく、事前に策定していた防疫対策組織は機能せず、応援派遣された自衛隊との連携も不十分で防疫活動が長期間に及んだとのことでした。大規模発生を想定しての殺処分後の埋却場所の確保やその経路など、当市においても整備しておく必要があると考えます。

《愛知県豊橋市》

子ども未来館(こもみ)の管理運営

家畜防疫の取り組みとしては、平成二十二年に発生した口蹄疫を風化させないため県主導で演習、研修を行っているとのことでした。防疫と生産性は連動する、防疫体制日本一を目指すという姿勢は、今後の当市の取り組みにも参考になると考えます。

《宮崎県川南町》

口蹄疫発生後の経過

川南町では平成二十二年に発生した口蹄疫において、その初動対応に困難を極めたとのことでした。まん延の



萩市にて説明を受ける委員



グリーン・ツーリズムの取り組みを学ぶ委員